

# 年頭訓示

## 低廉・良質なTMR飼料供給で

### 組合員貢献を目指す

岩竹重城代表理事組合長は、平成二十六年一月四日の仕事始めにあたり、本所職員、各事業場の所属長を前に年頭訓示を述べた。

酪農を取り巻く環境は、今後も更に円安傾向にある中で配合飼料や輸入粗飼料、そして原油価格の高騰で大変厳しいものとなることが予想される。迎える四月には消費税率が五%から八%に引き上げられることが影響して、生産基盤の弱体化を心配する。そうした中で職員には次の六項目をお願いしたい。



#### 安価で良質なTMR飼料供給が

#### 「広酪の使命」

我々は大事業である「TMRセンター統合整備の完成」を今年三月に目指しており、現在の年間製造数量九千トンを一万二千トンまで引き上げ、良質で安価なTMR飼料を供給し、組合員の酪農経営の安定と生産意欲の向上を目指す。このことが広酪の使命であり、そのためには①飼料イネの確保に向けた法人との連携、②刈取機械確保と機械取得の検討、③誰が収穫するのか、といった事が今後大きな課題となる。これには役職員が一丸となって対処していかねばいけない。一方では組合員へのTMR飼料の利用指導等の説明会も計画し実行されたい。

#### 二 第七次中期三か年計画の策定

中期計画の策定は次年度の大きな取り組みのひとつとなる。職員の積極的な方向付けと事業参画を求める。

#### 三 TPPを見据えた酪農家とは

TPPを見据えた酪農家は「土、草、牛」の資源循環型酪農と家族経営を基本として、地域に密着し、親子から孫に至るまで継続できる酪農経営の在り方を今一度考える時期に近づいているのではないかと。組合員巡回時にはこうしたことも伝えていってほしい。

#### 四 チームワークを大事に

組合組織の中で働く職員は、それぞれが如何



(組合長の訓示を聞く職員)

に優れた能力があっても一人だけでは仕事の成果は期待出来ない。職場内でのチームワークを良くして、みんなで力を合わせて全力で取り組むように一層の努力を求める。

#### 五 コンプライアンス重視

広酪の「経営理念」や「行動規範」を改めて認識し、行動基準を遵守した質の高い職員として組合に貢献すると共に一般社会、組合員との信頼関係をより一層高めて貰いたい。

#### 六 健康第一

仕事に全力で取り組むためには健康が一番である。より一層の気配りをして、楽しい職場づくりをもって頑張ってもらいたい。

組合員の皆さんへ

## TMRセンター竣工にかかる 組合員説明会 3会場で開催

広酪では、みわ・庄原両TMRセンターをみわTMRセンターに統合整備する事業に着手しております。この新TMRセンターでは、新たに圧縮梱包機「ラップベールマスタ」を導入し、現状よりも更に良質なTMRを製造する計画としております。

つきましては、組合員を対象にした説明会を次のとおり開催しますので、組合員の皆さんの多数のご参加をお待ちしております。

詳しくは、事業推進課(☎0824-64-2072)又は最寄りの事業所まで問い合わせ下さい。

### ■説明会の開催日時と会場

地域	開催日時	開催会場
東 部	2月5日(水)午後1時30分～ 午後3時30分	広酪東部事業所会議室 ■住所:府中市上下町上下 1507-4 ■電話:0847-62-3060
西 部	2月6日(木)午後1時30分～ 午後3時30分	NOSAI広島・山県家畜診療所会議室 ■住所:山県郡北広島町 461-1 ■電話:0826-72-2128
備北・南部	2月7日(金)午後1時30分～ 午後3時30分	三次ロイヤルホテル会議室 ■住所:三次市十日市東六丁目 13番25号 ■電話:0824-62-5161

お知らせ

多数のご参加を  
お待ちしております!!

## 3月7日 酪農セミナー

グランラセーレ三次

### ～演題：乳牛のための分娩管理～

酪農経営安定を図るには、乳用牛の栄養管理・繁殖管理・分娩管理などの飼養管理が重要です。

せっかく、栄養管理、繁殖管理が適正であっても分娩管理に問題が生じ、対象乳用牛を事故で失えば、経営者の精神的なショックとともに、酪農経営には大きなマイナスをもたらします。

今回の講演会は、「乳牛のための分娩管理」に焦点をあてた内容となっております。

各地域の酪農家の皆様が任意に組織されます酪農任意組織の構成員各位にも多数ご参加されますよう呼び掛けをお願いします。



開催日時 : 平成26年3月7日(金) 午前11時～午後3時  
 開催場所 : グランラセーレ三次 三次市十日市南1丁目5-5  
 演 題 : 『乳牛のための分娩管理』  
 講 師 : 帯広畜産大学 臨床獣医学 予防獣医療学分野  
 准教授 石井 三都夫 先生

日本産業動物獣医学会北海道地区学会会長賞、(社)日本馬事協会優良指導技術者賞、日本獣医学会獣医繁殖学分科会賞、神翁顕彰会神賞ほか多くの賞を受賞。

主 催 : 公益財団法人 森永酪農振興協会  
 共 催 : 広島県酪農業協同組合